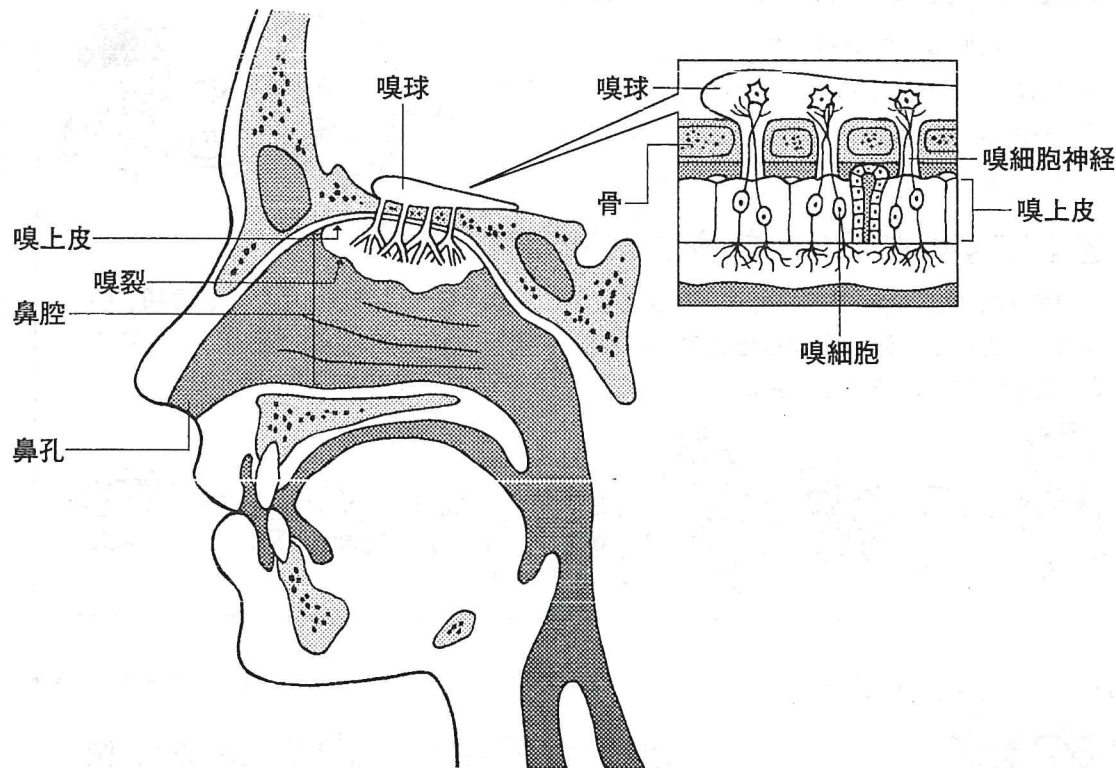


8月7日は
鼻の日

鼻の仕組みと役割

鼻は呼吸の出入り口であり、また、においをかく感覚器でもあります。

鼻腔の天井には、においを感じる嗅細胞があります。この嗅細胞にとらえられたにおいの分子は、電気的な信号にかわり、嗅神経の神経線維を通過して嗅球に伝わり、さらに大脳へ伝わります。そして、においを感じとります。



鼻の奥にある嗅細胞は約30日で、すべて新しくなる

脳の神経細胞や心筋細胞は、一生ほぼ同一の細胞であるのに対し、嗅細胞は約30日ですべて新しいものに入れかわるそうです。また、味細胞は約10日、消化管の上皮細胞は24時間で入れかわるといわれています。体の外から物質を取り込む役割のある細胞は、比較的短いサイクルで入れかわっているといえます。

鼻の役割

■においをかく

人は約400種類の嗅覚受容体を持ち、その組み合わせでたくさんのおいを認識しています。犬は約800種類、アフリカゾウでは約2000種類もあります。ほかの哺乳類に比べると、人のおいの機能は限定的といえます。人が感じられるにおいには、食べ物や植物のおいなどのほかに、体に危険を知らせるにおい（腐敗臭など）があります。

■呼吸をする

動物は鼻呼吸が基本です。鼻には空気を温めたり、加湿したり、ほこりなどを取り除いたりする機能があり、空気を体に適した状態にしてくれます。鼻づまりやくせなどで口呼吸になる時がありますが、口呼吸は本来不自然な呼吸法なのです。

こんな症状がある時は注意を

口で息をしている



鼻づまりなどがあり、鼻呼吸ができずに、常に口呼吸をしている場合。

疑われる病気

- ・慢性副鼻腔炎
- ・アレルギー性鼻炎
- ・急性副鼻腔炎
- ・アデノイド

くしゃみを連発する



かぜのひき始めや、アレルギー性鼻炎などが原因で起こります。また、鼻に入った異物によって出ることもあります。

疑われる病気

- ・急性副鼻腔炎
- ・アレルギー性鼻炎

鼻をよくこする、鼻の周りが荒れている



鼻をいじる、鼻をよくかく、指を入れるなどの癖がある場合、鼻に何らかの症状があることが考えられます。

疑われる病気

- ・アレルギー性鼻炎
- ・鼻腔異物

においを感じない



嗅覚の低下は子どもの場合、多くは自覚がなく、成長すると自覚したり、周囲が気づいたりすることがあります。

疑われる病気

- ・急性副鼻腔炎
- ・アレルギー性鼻炎
- ・嗅覚障害

鼻漏(鼻水)が止まらない



かぜやアレルギーによるものが多く、外気温の変化で出る場合もあり、まれに異物が入っていることもあります。

疑われる病気

- ・慢性副鼻腔炎
- ・アレルギー性鼻炎
- ・急性副鼻腔炎
- ・鼻腔異物

鼻血が止まらない、頻繁に出る



鼻をいじると鼻血が出やすくなります。鼻血が止まりにくいことから血液の病気が見つかることもあります。

疑われる病気

- ・アレルギー性鼻炎
- ・血液疾患（血友病、白血病など）